

# 「第五回熊本県医療人育成総合会議」の開催予定

副理事長 山本 哲郎  
テーマ…「医療人育成における学生のメンタルヘルスについて」

社会の様々な場面における適応の難しさは、今や現代を特徴づける問題であり、医療上の課題としても浮上してきています。学生達も例外ではなく、メンタルケアは大学保健管理センターの日常業務並びに各学部の学生支援においても年を追うごとに重要度が増しています。専修学校においては、保健管理センターを持たないため、さらに対応は難しい状況です。将来医療人に育つべき学生が、修学過程で自らの精神・心理的課題で、それを断念せざるを得なくなるようなことは、教育機関はもとより社会にとっても大きな損失です。学生たちのメンタルヘルスをいかにして保つのか、また、不調を来した場合にはいかにして早期からサポートするのか、熊本における医療人育成の中でのメンタルヘルスやメンタルケアに関する現状と課題を多面的に考えてみようという企画です。

実施日時…平成二十六年十一月八日(土) 午後一時半から四時半まで  
実施内容…

- 熊本大学エイズ学研究センター 教授 松下修三氏
- 熊本大学大学院生命科学研究所 教授 宇佐美しおり氏
- 講演一 現代の若者におけるメンタルヘルス障害の特徴

山口大学保健管理センター教授 山口 均氏  
講演二 総合大学における現状と取り組み  
熊本大学教授・保健センター長 岸川 秀樹氏

講演三 九州看護福祉大学教授・保健管理センター長 齋田和孝氏  
講演四 九州中央リハビリテーション学院長 児玉公道氏

熊本総合医療リハビリテーション学院長 辻野智二氏  
九州中央リハビリテーション学院長 児玉公道氏

九州看護福祉大学教授・保健管理センター長 齋田和孝氏  
医療技術系専門学校における現状と課題

熊本総合医療リハビリテーション学院長 辻野智二氏  
九州中央リハビリテーション学院長 児玉公道氏

総合討論(司会者は同上)  
参加募集対象者…  
医学・医療技術関連の大学や専修学校における教育・運営などの担当者、各医療技術専門家協会の後継者育成担当者、医療・保健行政担当者、一般の希望者

## 平成二十六年医学研究会・研修会等への助成を行う

平成二十六年度は、次の四件の研究会、研修会等に助成が決定しています。

- 熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修会
- 熊本保健科学
- 六月八日〜三月三十一日
- 第三十回熊本医学・生物科学国際シンポジウム 九月四日〜五日

## 平成二十六年度(第十九回)肥後医育振興会医学研究助成を行う

第十四回熊本大学医学部医学科医学教育ワークショップ 九月二十一日  
蕃滋祭(薬学展) 十一月三日〜四日  
平成二十六年度(第十九回)肥後医育振興会医学研究助成金助成候補者の選考が、平成二十六年九月一日に肥後医育振興会助成選考委員会において行われました。

平成二十六年度の助成選考委員会は、それぞれの所属機関から推薦を受けた次の七名です。熊本大学大学院生命科学研究所からは山縣和也教授(基礎系)、水田博志教授(臨床系)、大塚雅巳教授(薬学系)、大坪和明教授(保健学系)が、センター系からは熊本大学生命資源研究・支援センターの荒木喜美教授、熊本県医師会から河野文夫理事(国立病院機構熊本医療センター院長)、関連病院からは国立病院機構熊本医療センターの高橋毅副院長で構成され、互選で山縣和也教授が委員長となつて、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

医学研究助成金の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究所から六名、同医学部附属病院から六名、同発生医学研究所から一名、同エイズ学研究センターから一名、同薬学部から一名、熊本保健科学大学から一名、社会医療法人社団高野会高野病院から一名、医療法人社団寿量会熊本機能病院から一名の計一八名であり、

その中から次の四名が助成候補者として選考されました。その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

泉 裕一郎(三十六才)

熊本大学大学院生命科学研究所 研究員 腎臓内科学分野

「腎集合尿管管間在細胞において酸塩基平衡関連遺伝子群を調節する新たな転写因子の同定」

井上 泰輝(三十五才)

熊本大学大学院医学教育部 博士課程二年 神経内科学分野

「DRP-4阻害剤にプレイオトロピズムは存在するか?新規脳アミロイドアンギオパチー治療戦略への挑戦」

梶原 隆太郎(二十七才)

熊本大学発牛医学研究所 研究員 幹細胞誘導分野

「スフィンゴリピドシス患者由来iPS細胞の神経分化誘導・病態解析および薬剤スクリーニングにおける質量分析機LC-MS/MSを用いた評価法の構築」

境田 奈津子(二十七才)

社会医療法人社団 高野会 高野病院 管理栄養士

「クローン病患者の栄養アセスメントに関する研究」